

意見公募手続実施結果

- 1 題名 水戸市公共施設等総合管理計画改訂（素案）
- 2 案の公表日 令和6年1月16日（意見提出期限：令和6年2月15日）
- 3 市民等からの意見数

計 1 人 2 件

(1) 郵 送	人	件
(2) F A X	人	件
(3) メ ー ル	1 人	2 件
(4) 直接提出	人	件

4 提出意見及び提出意見を考慮した結果

意見等の概要	市の考え方（対応）
<p>P8 の図 7 公共施設の建築年別延床面積において、2020 年近辺で、「行政系施設」、「処理施設」、「スポーツ・レクリエーション系施設」、「市民文化系施設」の床面積が、それまでの推移に比べて異常に広がっています。</p> <p>これらの施設は、具体的には何をどのくらいの金額で整備したものなのでしょう。また、いつ計画ができて着工したものなのでしょう。</p>	<p>2020 年頃に床面積が大きく増えている主な理由は次のとおりです。</p> <p>「行政系施設」：市役所新庁舎 延床面積 40,942.54 m² 着工 平成 28 年 竣工 平成 30 年 総事業費 約 185 億円(市の実質負担額 約 21 億円)</p> <p>「処理施設」：新ごみ処理施設 延床面積 37,344.71 m² 着工 平成 29 年 竣工 令和 2 年 総事業費 約 344 億円(市の実質負担額 約 91 億円)</p> <p>「スポーツ施設」：東町運動公園新体育館 延床面積 16,791.88 m² 着工 平成 28 年 竣工 平成 30 年 総事業費 約 95 億円(市の実質負担額 約 28 億円)</p> <p>「市民文化系施設」：新市民会館 延床面積 22,893.54 m² 着工 令和 2 年 竣工 令和 4 年 総事業費 約 192 億円(市の実質負担額 約 92 億円)</p>

	<p>いずれの施設も平成 29 年 5 月に策定された当初計画には整備の方向性が示されており、市民サービスの向上と本市の将来の飛躍のためには不可欠な施設として事業を進めてまいりました。各事業の推進に当たっては、事業費の削減と国県補助等の財源確保に最大限に取り組み、市の実質的な財政負担を大幅に軽減しております。また、指定管理者制度の導入や民間との連携等により利用頻度を高め、効率的・効果的な管理運営に努めてまいります。</p>
<p>昭和 40 年代から 50 年代に整備した主な施設は、「市営住宅等」と「学校教育系施設」でした。今後の公共施設の総合管理でも、これら 2 つの「住と教育」を中心に、街の子育てに重要な施設への予算配分を厚めにするのが良いと考えます。</p>	<p>市営住宅等については、高齢化の進行や単身世帯の増加、さらには子育て世帯等のニーズの高まりなど、市民ニーズが多様化しております。こうした状況を踏まえて、「水戸市公営住宅長寿命化計画」に基づき、高齢者や障害者等に配慮した居住性や安全性の向上のため、適切な修繕・改善の実施により、住宅ストックの長寿命化を図るとともに、大山台住宅など子育て世帯向け住宅として整備を進めてまいります。</p> <p>また、学校教育系施設については、安全、安心かつ快適な学校環境の充実に向け、校舎等の耐震化や一人一台のタブレット端末等の整備を完了しております。こうした状況を踏まえて、「水戸市学校施設長寿命化計画」に基づき、さらなる学校環境の充実に向けて、バリアフリー化、屋内運動場への空調設備の設置、校舎等の防水改修等を推進することとしております。</p> <p>いずれの施設も市としては、重要な公共施設と位置づけていることから、計画的な事業の進行管理や予算配分に努めてまいります。</p>

問合せ先 総務部 財産活用課 財産活用係
 担当 小林, 鈴木
 電話 029-224-1111 内線 1431, 1432